

羅針盤

令和5年度 第1号 (通算348号)
令和5年4月13日 (木) 発行
岡山県総合教育センター 企画部
Tel (0866)56-9102 Fax (0866)56-9122

教育の情報化

ユニット研修プラス<授業づくり編>

「各教科における効果的なICT活用」の紹介

県総合教育センターでは、教育の情報化ユニット研修プラス<授業づくり編> 01~05 を作成し、順次公開しています。この度、新しく掲載した「unitプラス05」の概要と研修資料の一部を紹介します。

効果的なICT活用と視点

各教科の活用のポイントとメリットをギュッと凝縮

教科 **11** 事例

活用のメリット (児童・生徒)

英作文を自動添削機能でチェックすることで、単語や文法上のエラーについて各自で確認できるため、即座に**自己の考えを再整理**でき、**自信を持って**他者との意見交流や伝え合うなどの協働学習に取り組める

教科の特性を意識!

5 対話 6 思考

自力解決と協働学習の相互作用
自動添削機能の活用

活用のメリット (教師)

英作文の**自動添削機能**を利用することで、教員の添削の負担が軽減され、生徒の**新たな問い**や**発展的な学習**を支援するなどの**時間を確保**できる

活用がイメージできる

事例紹介 画面構成(例)

わかると楽しい

できると嬉しい

教科名、授業内容

1単位時間における活用のポイント

学校種

算数科「三角形と四角形」(図形のなかま分け意見交流)

6

小学校の実践

デジタルデータを使った効果的な試行錯誤と根拠に基づいた思考

活用の意図や効果のポイント



既習事項を想起、本時の課題をつかむ

前時の学習内容を1人1台端末で振り返り、「直録」の意味を確認し、本時の学習を準備し、本時の学習につなげる

タブレット上で図形データを保存・移動、加工等を行い、なかま分けを何度も試行錯誤できる

補助線や区切りを書き込み、根拠を明確に提示できる

具体的な児童生徒の取組のポイント

自力解決と思考の可視化

活用の視点

※3~7の5つの視点

すべての校種で活用できるポイント

学びのプロセスを意識した活用場面

※探究的な学びや情報活用能力の育成につながる視点

実践事例へのリンク

全校種ここ使える

デジタル空間では、データの移動や加筆修正が容易なため、自己の考えを明確に書き記すことができる

ICTの活用で資質・能力の育成に資する

※上記の内容は、久米南町立小学校的授業実践の一部を抜粋したものです。詳細はこちらをご確認ください。>>>
Copyright © 2023 © Okayama Prefectural Education Center

カツヨクノヒントがココにある!



岡山県総合教育センターが作成したユニット研修は、動画とPDF資料で構成され、動画の視聴時間は約10~25分となっています。個人での研修だけでなく、校内研修や地域単位の研修でも利用いただけますので、是非、御活用ください。

ユニット研修プラス

<https://www.pref.okayama.jp/page/745343.html>

